

EU Indicators

発表日: 2023年6月2日(金)

欧州経済指標コメント: 5月ユーロ圏消費者物価

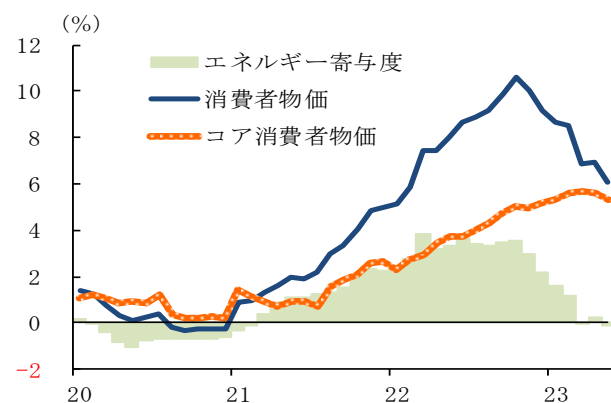
～コアと食料の3月ピークアウトを確認～

第一生命経済研究所 経済調査部

主席エコノミスト 田中 理 (Tel: 050-5474-7494)

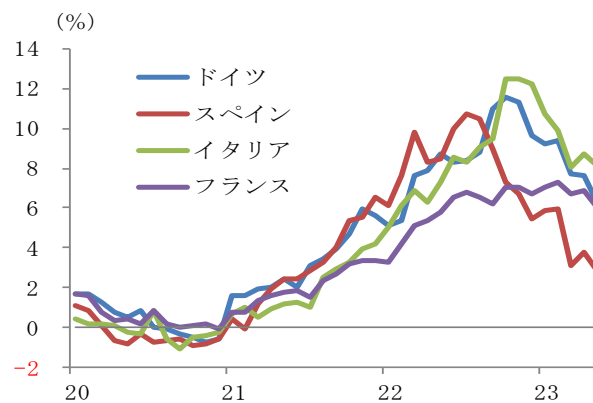
- 1日に発表された5月のユーロ圏の消費者物価の速報値は、事前のコンセンサス予想を下振れ。前月：前年比+7.0%→今月：同+6.1%と15ヶ月振りの水準に上昇率が鈍化。前月に一時的にプラス圏に再浮上したエネルギー価格は、同+2.4%→同▲1.7%と再びマイナス圏に転落。変動の大きいエネルギー・食料・アルコール飲料・たばこを除いたコア物価も同+5.6%→同+5.3%に鈍化。昨年5月が前年比の上昇率が一段と加速したタイミングと重なり、食料・アルコール飲料・たばこ価格も同+13.5%→同+12.5%に鈍化。コアと食料は何れも3月にピークアウト。
- コア物価の内訳は、エネルギーを除く工業製品の上昇率が同+6.2%→同+5.8%、サービス価格の上昇率が同+5.2%→同+5.0%と揃って上昇率が鈍化した。前年同月にドイツでコロナ危機対応と気候変動対策の旅行支援で49ユーロチケットの発売が開始された反動も出た。企業の価格転嫁や賃上げの動きが続いているが、昨年4月以降にコア物価の上昇率が大幅に加速しており、前年比ではその反動が出ることから、今後はコア物価も上昇率が一段と鈍化に向かうことが予想される。ただ、ピークアウトしたとは言え、年末に向けてヘッドラインが同+3%前後、コアが同+4%前後で高止まりするとみられ、ECBが早期にインフレ警戒を緩める理由にはならない。

■ユーロ圏: 消費者物価 (前年比)



注：コア物価は食料・たばこ・アルコール・エネルギーを除く
出所：Eurostat

■ユーロ圏：主要国の消費者物価（統一基準、前年比）



出所：Eurostat

■ユーロ圏の消費者物価 (%)

	2022				2023										
	2Q	3Q	4Q	1Q	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
消費者物価 (前期比)	2.4	2.3	2.3	0.9	0.7	0.6	1.0	1.4	0.2	-0.4	0.6	0.6	0.3	0.2	-0.1
消費者物価 (前年比)	8.0	9.3	10.0	8.0	8.9	9.1	9.9	10.6	10.1	9.2	8.6	8.5	6.9	7.0	6.1
コア消費者物価 (前期比)	3.7	4.4	5.1	5.5	4.0	4.3	4.8	5.0	5.0	5.2	5.3	5.6	5.7	5.6	5.3
コア消費者物価 (前年比)	7.6	10.7	13.5	14.9	9.8	10.6	11.8	13.1	13.6	13.8	14.1	15.0	15.5	13.5	12.5
食料/アルコール/たばこ (前期比)	8.8	12.5	15.8	17.0	11.5	12.4	13.8	15.5	16.0	16.0	16.3	17.3	17.5	15.0	-
食料 (前期比)	3.3	5.3	7.0	8.5	4.7	5.3	6.0	6.6	6.9	7.4	7.6	8.5	9.3	9.5	-
アルコール (前期比)	2.3	2.6	2.9	4.7	2.5	2.7	2.6	2.4	2.8	3.5	4.0	4.2	5.8	6.2	-
たばこ (前期比)	39.6	39.7	33.9	10.0	39.6	38.6	40.7	41.5	34.9	25.5	18.9	13.7	-0.9	2.4	-1.7
エネルギー (前期比)															

注：消費者物価の前期比は季節調整後。コア消費者物価は食料・アルコール・たばこ・エネルギーを除く。出所：Eurostat

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

